

## 「飲酒運転ゼロへの想い」についての感想

- ◆アルコールの恐ろしさを改めて考える、いい機会になりました。被害者の三浦さんの家族の方々が元気になるように祈っています。
- ◆被害者親族の方の話として、非常に重みを感じました。お酒を全く飲まない自分でも、この講演を聞いた後では、怖くて飲めなくなるかもしれません。今回だけに限らず、飲酒運転に関する講演会を開いて、多くの人に参加して頂きたいです
- ◆高校生の息子を持つ身として、他人ごとではない話だと思いました。飲酒運転への怒りがこみ上げました。思い出したくないであろうご子息のご不孝と向き合い、飲酒運転撲滅への思いで、講演活動を行っておられる三浦さんの強さに敬服します。
- ◆アルコールの作用◆害に関して無知であることを自覚した。翌日を考えて、飲酒することを心掛けていく。
- ◆ものすごく 勉強になりました。
- ◆お酒の飲む量など、自分の生活をもう一度考え直そうと思いました
- ◆大変、真実味があり、心にしみました。ラジオ等でお声は聞いておりましたが、ご本人の口から直接お聞きすると、やはり違いますね。今後、飲酒運転しないことを誓います。
- ◆自分も息子がいるので、とても心が痛かったです。酒は飲まないけど周りで飲んでいたら、車を運転させないよう止めたいです。
- ◆ひとつの事故で、被害者家族の方が、こうも悩み傷ついているとは知りませんでした。今後、自分も他人も絶対飲酒運転をしない、させないことにします。
- ◆とても強い想いを感じ、感動しました。子供を持つ親として、これから、もっともっと飲酒運転はしない気持ちを持っていきたいと思いました。
- ◆とにかく、早くゼロになって欲しいです。
- ◆大変、ためになりました。飲酒運転が無くなることを願います。
- ◆飲酒運転は、絶対しないように心掛けたいと思います。
- ◆休みの日は、私も一日中でも飲酒する人間なので、今日は話を自分にも当てはめて、しっかりしないといけないと思う。
- ◆飲んだら運転しない。
- ◆飲酒での事故の悲惨さが伝わり、運転意識がかわると思います。残された家族にも、不幸が続き、改めて安全運転について考えさせられます。飲酒運転撲滅を祈ります。
- ◆大変、勉強になりました。
- ◆飲んだら運転しない、運転するなら飲まない。
- ◆飲むなら運転しない。
- ◆私は、お酒は飲めませんが、今後、ハンドルキーパー率先して行い、飲酒運転ゼロの役に立てればと思います。

- ◆メディアでしか聞いたことのない話だったので、とてもためになりました。
- ◆この度の研修会の話が無駄にせず、本当にこの世から飲酒運転ゼロになって欲しいです。もちろん自分も心がけて行動したいと思いました。
- ◆今回の研修会は、とても勉強になる研修だったと思いました。自分もお酒を飲む方なので、このようなことがないように、まず、しないようにと思いました。
- ◆飲酒運転の悪さ、休日以外の飲酒をしないように。
- ◆事故の被害者家族の心の苦しみが言葉などからよく伝わりました。運転には、細心の注意をしようと思いました。
- ◆飲酒運転によって被害を受けた人達がどんな気持ちになるかよくわかりました。飲酒運転をしない、させないようにしていきたいです。
- ◆良い話でした。絶対に飲酒運転はしてはいけない。
- ◆実際に事故にあわれた方の話を聞いているときは、決して他人事では無く、いつ自分の身にふりかかるかということを考えた時、すごく恐くなりました。自分は酒を飲みませんが、まわりの方にそういう方がいたら、率先して注意していきたいです。
- ◆テレビ等で話に出ている時は、よく目にしますが改めてお話を聞かせて頂きもっと身近なことだと実感しました。
- ◆飲酒した後の運転は絶対にしてはならない。被害者の家族の方から直接、話を聞いたことにより、再度確認することができました。仕事上、ハンドルを握る立場として、自分の周りにも同じ思いをさせてはいけない、そのために自分の行動にも気を付けていく。
- ◆アルコールを飲むとコントロールが効かなくなるので、飲んだら車の運転は絶対にしないことをそれぞれが誓い実行してもらいたいです。
- ◆自分はお酒を1つも飲まないのですが、今日の話聞いて、これからもお酒は飲まないと思う。
- ◆被害者の事故後の感情や状況を聞いて良かった。
- ◆私の長男が高校1年生の時、同じ崇徳の先輩が事故で亡くなったと聞きました。まさか、今日、その方のお話を聞くとは思っておらず、大変ショックを受けました。息子も自転車で通学しておりましたので「もし自分が」と思うと…。お辛い気持ちを乗り越えての講演、本当にありがとうございました。
- ◆私は、飲酒はしませんが飲酒運転の事故の話は、本当によく耳にします。三浦さんの話の生々しさや苦しみ悲しみを思うと飲酒運転は、必ず「ゼロ」にしなくてはならないと心から思い感じました。
- ◆絶対、絶対に飲酒運転をしない、させない。三浦さんの話を聞いて、その気持ちが強くなりました。
- ◆飲酒運転は人として大人として絶対するべきではないと思います。三浦さんの話を聞いて、その気持ちがより強くなりました。身近で飲酒運転をしている人がいるとなんとしても止めたいです。

- ◆今日の話では、飲酒運転での事故で失うことの大きさを知りました。車に乗る仕事なので、自分は気を使い仕事の時は飲まないようにしています。また、逆の立場になり、家族は失いたくありませんし、身近な人にも出たくありません。
- ◆飲酒運転は悪いことという認識はあったが、飲酒運転をすることにより発生する事故、事故により発生する被害者、加害者の運命まで左右してしまうことを改めて認識しました。
- ◆死亡事故が我々のすぐそばで起こっていると感じました。我々の職務の中から、そのような悲しい事故を起こさないよう努力していきます。
- ◆飲酒運転は、した本人も大変なことになるのだと思いました。自分は全く飲酒をしないので、飲んでまで運転する人の気持ちが理解しがたいですが、この先飲酒運転が無くなることを祈ります。
- ◆飲酒運転の恐さを改めて自覚しました。思い出すのも辛いのにお話を聞けて、とてもよかったです。
- ◆報道されている範囲しか知らず、事故後のご家族への影響など初めて知り、とてもショックでした。これを機に、職場や家族、友人等にも今日の研修内容を伝え、私も少しでもゼロプロジェクトのお力になれるよう、行動していきたいと思います。
- ◆飲酒運転の危険性や普段、気にすることの少ないアルコールの危険性を再度、深く認識する機会となりました。
- ◆三浦伊織君のためにも一人でも多くの人に命の重みを知ってもらい、平和な広島になって欲しいと思いました。
- ◆自分もゼロ。